

2008年 月 日

株式会社 みずほ銀行
支店 支店長 殿

● 各地の要請団体を挿入
明治乳業争議支援共闘会議
議 長 松本 悟
明治乳業賃金昇格差別撤廃争議団
団 長 小関 守

要 請 書

銀行業務の社会的責任（CSR）を果たすために努力されていることに敬意を表します。

さて、食品の不祥事、サブプライムローン投資、偽装派遣、賃金・昇格差別など、企業不祥事が相次いでいます。今ほど、企業の社会的責任が厳しく問われているときはありません。企業の社会的責任の中心は、労働者に対して、人権侵害や賃金・昇格差別などをしないことです。貴社が第一勧業銀行時代から筆頭株主である明治乳業も、自社の行動規範では、「人権尊重を基本として安全で働きやすい職場を作る」とうたっています。ところが、実際は労働者を「赤組」「白組」「雑草組」に区分し、長期に及んで賃金・昇格差別を行ってきたのです。ご承知の通り、社会的責任の国際的な流れをうけて、東芝、石川島播磨、日立、住友重機などが行ってきた、賃金・昇格差別の大型争議は次々と解決しました。

今年の労働経済白書は、貧困と経済低迷の原因は、非正規労働者の増加にあると指摘し、改善を求めています。ところが、明治乳業グループ全体の非正規労働者の比率は、全国平均を大きく上回り41%です。しかも、今期株主総会での答弁によると、派遣労働者や請負はカウントすらしていないというのです。このように労働者をモノ扱いにする姿勢が、明治乳業の「食の安全」を脅かす不祥事続発につながっているものと考えます。

明治乳業に対し、社会的責任を求める私たちの共同行動は、テレビなどマスコミでも大きく報道されました。また、明治乳業争議を支援する関西での支援共闘会議が結成されるなど、私たちの運動に対する共感と共同が大きく広がっています。

明治乳業には、今年4月で24年目を迎えた市川工場事件（千葉県32名＝最高裁で上告審）と、14年目の全国事件（9事業所32名：北海道、埼玉、茨城、静岡、愛知、石川、京都、大阪、福岡＝都労委に係訴中）の労働争議があります。私たちは、07年3月に出された市川工場事件への東京高裁判決を契機に、筆頭株主である貴社に対し、全面解決への道筋を切り開くための特段の努力をお願いし、本社を始め主要支店への大衆行動も含めた要請行動を強めてきました。それは、司法判断の内容からも、また、明治乳業を巡る経営環境をみても、明治乳業には労働争議を継続すべき大義も道理も無いものと考えているからです。

東京高裁判決は、「控訴棄却」の不当判決でしたが、しかし、その事実認定と判断では、第一に、申立人ら差別されている労働者らの「集団性」を認め、第二に、集団間に存在する「有意な格差」を認定。第三に、不当労働行為意思についても、「控訴人らの上記主張が妥当するとみる余地はある」と判断するなど、「不当労働行為事件」の判断要件を、十分に満たす内容の認定が行われています。しかし、明治乳業は、認定された事実を黙殺し、「控訴棄却」の結論だけを盾に、解決に向けて双方が話し合う事すら拒否しているのです。

私たちは、格差（差別）を認定し、不当労働行為意思にも言及した東京高裁の判決を、筆頭株主である貴社自身が重く受け止め、一切の話し合いを拒否する明治乳業の姿勢を改めさせ、真摯に応じるよう説得することを強く要請するものです。

また、長期争議の解決は、明治乳業を巡る経営環境からも待ったなしの課題です。

特に重要なのは、貴社が筆頭株主である明治乳業と明治製菓が、来年4月1日を期して経営統合を行い、共同持株会社「明治ホールディングス株式会社」を設立することです。これは、国内市場の縮小傾向の中での競争激化など、厳しい経営環境を経営統合の規模拡大で克服し、売上高1兆円を超える世界有数の「食と健康」企業グループを目指すものであり、まさに、両社は歴史的な節目を迎えているのです。

しかし、経営環境は厳しく、特に、輸入飼料の高騰などを背景に酪農は危急存亡の事態にあり、「安全・新鮮な牛乳」を守る立場での、明治乳業などメーカーの社会的責任が厳しく問われています。また、「安全・安心」を脅かす不祥事の続発が消費者・国民の不信と怒りを限りなく深め、一回の不祥事・不正行為が企業の存立を崩壊させる事態となっています。まさに、異常な長期労働争議を抱える企業体質のもとで、大腸菌汚染の「ミルク 220ml」の出荷（2007年7月16日製造）など、信じがたい不祥事を繰り返している明治乳業の現状は、筆頭株主である貴社は勿論のこと、多くの株主にとっても企業の存立に係わる看過できない由々しき事態なのです。

私たちは、上記の立場を踏まえ、貴社への要請行動を継続してきましたが、残念ながら筆頭株主の責任を果たす状況には至っておりません。従いまして、明治製菓との経営統合の前に全面解決を実現する立場を明確にし、筆頭株主である貴社自身の社会的責任も含め、明治乳業に厳しく向き合うことを後押しする立場から、貴社の支店に対する全国規模での宣伝・要請行動を行っているところです。

行動の趣旨を重く受け止め、真摯に対応されることを強く要請いたします。

記

一、筆頭株主としての社会的責任で、明治製菓との経営統合の前に「話し合いの場」を設定し、明治乳業に長期労働争議解決への決断を迫ること。

上記、重ねて強く要請いたします。

以上。